

## Add-on Program 「多言語・多文化社会」 2007年度1学期 市民聴講生募集

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、多言語・多文化化する日本社会のいまを学ぶ教育プログラム『Add-on Program「多言語・多文化社会」』を開講しています。第一線の実践者・研究者を講師にお招きした刺激溢れる授業です。一般の市民の皆様も、これらの講義を市民聴講生として受講できます。ふるってご応募ください。

募集期間：2007年3月1日～15日  
 応募資格・方法・費用・定員：2007年3月1日に公開予定  
 詳細は、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターのウェブサイトをご覧ください。  
[http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/center/2007/02/addon\\_program\\_2.html](http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/center/2007/02/addon_program_2.html)

### 開講科目・スケジュール

#### 1. 多言語・多文化社会論入門

\*外国人労働者をめぐる具体的な事例について、現場のゲスト講師を招いて考えます。

責任者：青山 亨 4月17日より毎週火曜日 14時50分～16時20分 113教室

日付	テーマ	講師
4/17	オリエンテーション	青山 亨 (東京外大)
4/24	授業の導入、アイスブレイキング、グループ分け	杉澤経子 (東京外大)
5/8	ビデオ1 (フィリピンの親子の事例) 問題の抽出	塩原良和 (東京外大)
5/15	現場の声：日本で働くフィリピン女性	アガリン長瀬 (KAFIN)
5/22	現場の声：外国人の法的地位と在留特別許可制度	山口元一 (弁護士)
5/29	議論：フィリピンの孤児院での支援から見える日本社会	横田 宗 (ACTION 代表)
6/5	ビデオ2 (ペルーの家族の事例) 問題群の抽出	青山 亨
6/12	現場の声：日系労働者受け入れの背景と労働の実態	高城一夫 (東京外国人雇用サービスセンター室長)
6/19	現場の声：日系労働者から見た日本社会の問題点	イシカワ・エウニセ・アケミ (静岡文化芸術大学)
6/26	現場の声：日本で働く外国人労働者の子どもたち	エレナズ・ジャラリ (亜細亜大学学生)
7/3	現場の声：在日コリアンの子どもたち	宋 賢進 (東京朝鮮第二初級学校校長)
7/10	議論と発表：学生によるグループワーク	青山 亨
7/17	議論と発表：学生グループによるプレゼンテーション	青山 亨

#### 2. 多言語・多文化社会論 (言語技能入門)

\*教育・司法・医療などの現場における実践的通訳の基礎を学びます。

責任者：川口健一 4月16日より毎週月曜日 10時40分～12時10分 113教室

日付	テーマ	講師
4/16	入門 のオリエンテーション	川口健一 (東京外大)
4/23	コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー	前田節子 (心理カウンセラー)
5/7	外国籍児童生徒支援者から見た教育制度	王慧權 (多文化共生センター東京代表)
5/14	教育現場での通訳実践	王龍 藝群 (兵庫県多文化共生サポーター)
5/21	外国籍児童生徒の求める通訳支援	早川秀樹 (多文化まちづくり工房代表) 他
5/28	通訳から見た司法	川口健一
6/4	司法現場での通訳実践	川口健一
6/11	外国人にとっての医療制度	講師未定
6/18	医療現場での通訳実践(1)	前田節子
6/25	医療現場での通訳実践(2)	前田節子
7/2	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(1)	藤谷純子 (武蔵野市国際交流協会コーディネーター)
7/9	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(2)	西村明夫 (MIC かながわ)
7/23	まとめ	川口健一

(裏面に続く)

### 3. 多言語・多文化社会論（歴史）

\* 多言語・多文化社会の歴史的背景を、日本と世界を比較する視点から学びます。

責任者：野本京子 4月12日より毎週木曜日9時～10時30分 114教室

日付	テーマ	講師
4/12	ガイダンス（授業の狙いと方法 対象地域）	野本京子（東京外大）
4/19	日本における多言語・多文化社会の歴史(1)	米谷匡史（東京外大）
4/26	イギリスにおける多言語・多文化社会の歴史 日本との比較の視点から	佐久間孝正（立教大学）
5/10	日本における多言語・多文化社会の歴史(2)	野本京子
5/17	インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史	青山亨（東京外大）
5/24	マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史	左右田直規（東京外大）
5/31	日本における多言語・多文化社会の歴史(3)	河路由佳（東京外大）
6/7	フランスにおける多言語・多文化社会の歴史	工藤光一（東京外大）
6/14	ロシア・東欧における多言語・多文化社会の歴史	講師未定
6/21	アメリカ合衆国における多言語・多文化社会の歴史	佐々木孝弘（東京外大）
6/28	カナダにおける多言語・多文化社会の歴史	大岡栄美（明治学院大・非常勤）
7/5	ブラジルにおける多言語・多文化社会の歴史	鈴木 茂（東京外大）
7/12	講義のまとめ	野本京子

### 4. 多言語・多文化社会論（社会・文化）

\* 多言語・多文化化する日本社会・文化を多角的な視点で学びます。

責任者：塩原良和 4月13日より毎週金曜日10時40分～12時10分 113教室

日付	テーマ	講師
4/13	ガイダンス（授業の狙いと方法）	塩原良和（東京外大）
4/20	多言語・多文化化する社会(1)外国人労働者と日本の労働市場	鈴木江理子（現代文化研究所）
4/27	多言語・多文化化する社会(2)職場における外国人労働者	五十嵐泰正（日本学術振興会）
5/11	多言語・多文化化する社会(3)都市と多言語・多文化社会	渡戸一郎（明星大学）
5/18	多言語・多文化化する社会(4)エスニック・ビジネス	橋本みゆき（川崎市ふれあい館）
5/25	多言語・多文化化する社会(5)ジェンダーと多文化社会	藤岡美恵子（IMADR）
6/1	中間まとめ（ワークショップ）	塩原良和
6/8	マジョリティを相対化する(1)日本社会の見えない「多文化」	倉石一郎（東京外大）
6/15	マジョリティを相対化する(2) 沖縄・小笠原諸島と日本	石原 俊（千葉大学）
6/22	マジョリティを相対化する(3)多文化主義	塩原良和
6/29	マイノリティの経験する「日本」(1)外国人住民への偏見	イスラム・ヒム（会社経営）
7/6	マイノリティの経験する「日本」(2)在日コリアンにおける民族文化振興活動	裴重度（川崎市ふれあい館）
7/13	講義のまとめ（ワークショップ）	塩原良和

各講義のテーマ・講師は変更される場合があります。当センターウェブサイトをご確認ください。

<お問い合わせ先>

東京外国語大学 多文化・多言語教育研究センター

〒183-8534

東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学 研究講義棟 319号室

TEL: 042-330-5441

FAX: 042-330-5448

Email: tc@tufs.ac.jp

URL: <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>